

報道関係者 各位

2017年2月23日

公開講演会「恵みの水、災いの水ー川、湖、海ー」

2017年3月21日(火)開催!国立民族学博物館

国立民族学博物館(大阪府吹田市千里万博公園10-1)では、公開講演会「恵みの水、災いの水ー川、湖、海ー」を2017年3月21日(火)に開催する運びとなりました。

本講演で、津波、水害、干ばつなどの水に関わる災害への人の対応について、研究および政策実践を行ってきた講演者が、恵みの水、災いの水という視点から、人と水の多様なかかわりかたとこれからの課題を論じます。

【講演1】東日本大震災から学ぶー豊かな暮らしのためにー

竹沢 尚一郎(国立民族学博物館・総合研究大学院大学 教授)

東日本大震災は三陸各地に甚大な被害をもたらしましたが、この地域の人びとが生活の糧としてきたのは海の恵みであった。沿岸の縄文式遺跡の多くが津波の被害を受けていないという事実は、海のもたらす恵みと破壊が古くから理解されていたことを物語っている。海と共に生きるすべをどのように再発見していくか、さまざまな事例から考えたい。



【講演2】「遠い水」「近い水」ー琵琶湖から生存可能な関西を構想するー

嘉田 由紀子(びわこ成蹊スポーツ大学 学長)

「水と人間とかかわり」を、琵琶湖を中心に、アメリカの五大湖周辺、ヨーロッパのレマン湖、アフリカのマラウイ湖などと比較研究。わかった事はかかわりの構図には三つの層:「自然」「文化」「文明」が重層化しているということだ。日本の自然・文化的に「近い水」が、文明的な「遠い水」になった今、改めて関西での「近い水」の再生を訴え、災害多発日本の生存可能性を提案したい。



【開催概要】

講演名	公開講演会「恵みの水、災いの水ー川、湖、海ー」
日時	2017年3月21日(火)18:30～20:45(開場 17:30)
会場	オーバルホール(大阪市北区梅田3-4-5 毎日新聞社ビルB1)
主催	国立民族学博物館、毎日新聞社
講演1	「東日本大震災から学ぶー豊かな暮らしのためにー」 竹沢尚一郎(国立民族学博物館 教授)
講演2	「「遠い水」「近い水」ー琵琶湖から生存可能な関西を構想するー」 嘉田由紀子(びわこ成蹊スポーツ大学 学長)
パネルディスカッション	竹沢尚一郎 × 嘉田由紀子 × 池谷和信
総合司会	池谷和信(国立民族学博物館 教授)
申込/参加費	要事前申込(先着順)/無料 ※手話通訳あり
申込方法	<p>【申込フォームの場合】 国立民族学博物館のホームページ内にある申込フォーム画面に従って必要事項をご記入ください。 http://www.minpaku.ac.jp</p> <p>【往復ハガキの場合】 往信面に次の①～⑥を記載してください。 ①郵便番号 ②住所(返信用宛名面にも)③年齢(任意)④電話番号 ⑤参加者氏名・ふりがな(本人を含め5名まで)⑥3月21日公開講演会 *参加申込をいただいた方の個人情報は、本講演会のみで使用いたします。</p>
宛先	〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10-1 国立民族学博物館 研究協力課

【プログラム】

17:30-18:30	開場
18:30-18:35	開会 丸山 雅也(毎日新聞大阪本社 編集局長)
18:35-18:40	挨拶 須藤 健一(国立民族学博物館 館長)
18:40-18:50	概要説明 池谷 和信
18:50-19:20	【講演1】竹沢 尚一郎
19:20-19:50	【講演2】嘉田 由紀子
19:50-20:10	休憩
20:10-20:45	パネルディスカッション 竹沢 尚一郎×嘉田 由紀子×池谷 和信

【学術公開講演会とは】

先端的な研究活動を取りあげ、その成果を社会に積極的に還元するとともに、文化人類学・民族学を通じての異文化理解と、広く本館が学術研究機関であることの認識を一般市民に深めてもらうことを目的として、東京と大阪において実施しています。

今年度は、平成 28 年 11 月 10 日(木)に日経ホール(東京)にて「スイカで踊る、クジラを祭るー生きもの与人 共生の風景」を実施しました。

【登壇者紹介】



竹沢 尚一郎 (国立民族学博物館 教授)

フランス社会科学高等研究院博士課程修了。民族学博士。九州大学大学院教授を経て、2001 年より現職。西アフリカで考古学発掘に従事するほか、東日本大震災の後は家族で岩手県の被災地の支援をしながら研究をおこなった。『被災後を生きる:吉里吉里・大槌・釜石奮闘記』(中央公論新社、2013 年)など。



嘉田 由紀子 (びわこ成蹊スポーツ大学 学長)

世界各地で水環境を学び、結果として琵琶湖の自然と文化の世界的価値を発見。研究成果を行政と政治に活かすべく 2006 年から二期八年滋賀県知事。農学博士。人類学・社会学的視座から内発的發展をめざす。

著書に『知事は何ができるのか?』(風媒社、2012 年)、『琵琶湖に恋した知事』(岩波書店、2009 年)など多数。

【総合司会者紹介】



池谷 和信 (国立民族学博物館 教授)

生き物文化誌学。理学博士。「狩猟採集民」からみた地球の歴史を明らかにする。自然、文化、文明の相互作用が課題。

著書に『山菜採りの社会誌』、『人間にとってスイカとは何か』、『地球環境史からの問い』など。